

令和4年9月7日に一般質問で登壇しました。

一・印西市図書館の運営

Q 市内で図書館運営に関わる市職員の構成は？

A 図書館6館全体で正規職員、再任用職員、任期付職員、会計年度職員で合計73名そのうち司書が32名で運営している。

Q ここ数年司書の正規職員の採用がない。また図書館6館に対して全体的にも司書人数が不足しているのではないか？

A 指摘のとおり、司書資格を持つ正職の採用は無く、減少傾向にある。図書館サービス向上の為に、司書の役割が非常に重要なことから、司書資格を持つ任期付職員や会計年度職員の採用で、対応している。

Q ここ10年間図書購入の予算がほぼ同額となっている。人口が増えているにも関わらず図書館費が全然増額されていない。これでは実質図書費は年々減少していると考え。最近図書館に行く以前は雑誌等が入口ロビーに沢山並べられていたが、現在はなくなっただけで、市民の方からはこのような状態では図書館に赴く魅力がなくなつたとの声も聞く。

答弁では図書館サービスの向上に努めているとの事だが、これでは逆行している。市としてはどのように考えるか？

A 1人あたりの図書購入費は、減少傾向と認識している。新しい図書サービスとして、電子書籍の購入などサービスの向上に努めている。

※稲葉の見解



図書館サービスの充実には司書の方が市民のニーズに答えられる用レファレンスサービスの充実等の為に質問行いました。また質問にも記述しましたように魅力ある図書館にする為には図書購入の予算の確保を今回強く訴えました。

また、現在図書館の指定管理制度導入に関して論議がありますが、市は、「公共施設適正配置アクションプラン」の対策内容に、「大森図書館・小倉台図書館は、大規模改修終了後に指定管理者制度の導入を進める」とはあるものの、再度図書館協議会に諮問して再度練り直すという回答でした。私も再検討すべきと考えます。

一・印西まちなか音楽祭

Q 令和4年5月22日印西牧の原駅を中心に周辺の商業施設や公園などに10箇所、57団体約300人の出演者で様々なジャンルの音楽が奏でられ晴天にも恵まれ大盛況のうちに終了した。市として音楽祭を終えどのように考えているのか？

A 延べ人数、約12,600人の多くの方々が来場し楽しんでいただけたと感じている。コロナ禍で練習や発表の機会が少ない中で、音楽文化を守り、地域の活性化を図るために開催した。総括すると、出演者及び市民が音楽という媒体を通して一体感をはぐくみ、開催目的を達成するとともに、まちづくりに寄与できたと考える。次年度以降も継続して開催できるように、印西まちなか音楽祭実行委員会と連携していきたい。

※稲葉の見解

市議会議員になってから芸術文化の支援や市内在住の芸術家の活動の場の提供、そしてこのような音楽祭の実施を夢に描いて市職員の方へ相談や、一般質問を行って来ました。やっとこのようなイベントが行われました。準備されてきました実行委員会の方々や市職員さんの苦勞に感謝です。今後も末永く続くように見守って行こうと思っております。

編集後記

『稲葉たけし通信』は2015年5月7日創刊より今号で71号となりました。各ご家庭にお届けしていますがなかなか毎号をお届けできないで状況です。『稲葉たけし通信』のバックナンバーをホームページよりダウンロードできるようにしています。下記のアドレスからダウンロード頂ければ幸いです。
<https://inabatakeshi.com/inabamedia/>
またスマートフォンの方は下記のQRコードを読み取ってサイトより参照してください。



市民相談を再開しました

皆様のご提言、ご指導、ご要望等をお受しています。まずは下記へご連絡をお気軽にどうぞ！！
連絡先：稲葉たけし後援会事務所
住所：〒270-1327 印西市大森3528番地3
電話：0476-42-2376
メール：inaba@simin-inzai.com
コロナ対策としてオンラインにても受付しています。
(zoom,skype等)

議会が終わりました。次回の議会は12月となります。

この間の2カ月は、いろいろな所へ顔を出して、今市民の皆さんが何に困っているかを把握して直ぐに対処出来るものであれば市職員に対応してもらったりしています。

また、この「稲葉たけし」通信を各ご家庭に配布しています。
議案の内容や一般質問の内容は次号にも掲載予定です。

10月になりめっきり涼しくなってきました。季節の変わり目お身体ご自愛ください。

稲葉 たけし